

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 藤岡市立北中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒375-0014
群馬県藤岡市下栗須283番地2

E-mail : fujikita@school.gsn.ed.jp

Website : http://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1020002

児童生徒数：男子 307名 女子 302名 合計 609名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 地域貢献活動 ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

1 本校が取り組むユネスコスクールプロジェクトについて
地域貢献活動…テーマ「We Love ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として、使命感ある生活を実践する契機とする活動を行う。こうした理念の下、本年度は2学年においてチャレンジウィークという職場体験活動の一環として「ちいき隊」といったグループを組織し、独居老人の家でお世話する活動や、地域の清掃活動といった地域からの依頼に生徒が応える活動を行った。

2 チャレンジウィークについて

(1) テーマ 「自分、新発見！」 — 体に汗、頭に汗、心にも汗 —

(2) 理念

チャレンジウィークの前身である「職場体験学習（初回；平成2年3月実施）」を全国に先駆けて実施したパイオニア校としての誇りを生徒たちに持たせ、5日間30時間の体験を終えたときに、「新たな自分の可能性」、「新たな将来の夢」、「今まで知らなかった自分」を発見できることを実現する。活動を通して多くの人とふれあい、新たな価値観、仕事の厳しさを知ること、今の自分を見つめ直す機会を与えるだけでなく、地域「ふじおか」の良さを知り、自分にも地域に貢献できることがある、ということを感じさせる機会とする。

(3) ねらい

- 自己の将来や社会の未来をみつめ、より良い生き方を探る機会とする。
- 各事業所での体験を通して、勤労の尊さや働くことの意義、地域社会で活動していくことの大切さを学び、生き甲斐のある生活を実現していこうとする意欲を育てる。
- 地域社会での体験を通して、将来自分たちが担っていく社会の未来について考えさせ、地域に生きる若者として、夢を持って、地域社会をよりよくしていこうとする態度を育てる。

(4) 活動内容

① 職場体験学習・・・「I LOVE 自分」

「本気で取り組み、己を知る」ことを実現するために、本事業の目的（職業観・人間観・社会性等の育成）を達成できるよう、特に事前事後の指導の徹底を図っていく。また、充実した体験活動を実現することのできる事業所を選定していく。以上のような万全の環境整備をした上で、生徒には目的遂行のために真摯に臨ませていきたい。

② 地域貢献活動・・・「WE LOVE ふじおか」

地域で生まれ、地域で育ちながら、地域との結びつきが希薄な現状を打破し、「ふじおか」を愛し、「ふじおか」の若者として使命感のある生活を実践する契機としたいと考え「北中ちいき隊」として、次の3つの活動を行うこととした。

○地域在住の独居高齢者との交流

地域に住む独居高齢者や福祉施設を訪ね、家事手伝いや対話等の交流を図ることで、中学生でも出来る地域貢献活動を実践することで高齢者福祉への関心を高めさせたり、社会人としての資質を養ったりする機会とする。

○地域の清掃活動

地域の道路の清掃活動を通して、地域愛や社会参画意識を高めていく機会とする。

○小学生下校時支援活動

小学生の下校支援活動を通して、年少者への思いやりの心や交通安全、不審者対応などの地域の安全についての意識を高めさせる機会とする。

(5) 参加人数

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
職場体験学習 (人)	161	161	178	169	166
地域貢献活動 (人)	25	24	6	16	18

(6) 地域貢献活動「ちいき隊」の活動様子（活動の様子と生徒の思い）

独居老人宅の草むしりや道路の清掃活動など、地域のために活動しました。草むしりは大変でしたが、きれいになった跡を見ると、達成感でいっぱいでした。また、道路にはたくさんのゴミが落ちていることに驚きました。地域をきれいにする事の大切さに気付いた有意義な活動でした。その他にも、高校説明会の手伝い、小学生への下校指導、グループホームの手伝いなど、様々な活動を行いました。地域に貢献することはとても素晴らしいものだ実感しました。活動後は、みんな充実した表情でした。

3 事前・事後の主な指導

事前の活動

- 職業人から話を聞く会（2回実施）
- マナーアップ講習会（ヨシモトポール・NTTに講師を依頼）
- 事業所等事前訪問

事後の活動

- 協力していただいた事業所への「お礼の手紙」
- 体験文集「自分、新発見！」の作成
- 体験報告会（1年生を対象に）
- 事業所お礼の訪問（体験文集を届けに）

4 成果と今後の課題

(1) 成果・・・真剣に取り組んだからこそ“わかる”ことがある。

- 「厳しい体験にしてください」という今年度の本校のねらいを理解していただいた事業所での体験であったため、「仕事に真剣に取り組む」という体験をさせていただくことが出来、働くということを実感しただけではなく、仕事の意義を身を持って体験し、理解することが出来た。
- 地域貢献活動である「北中ちいき隊」が地域で浸透しつつあり、活動中に通りかかった方々から温かい言葉や励ましの言葉をかけていただけることが増え、生徒はやりがいを持って貢献活動に取り組むことが出来た。

(2) 課題・・・さらなる発展を目指すために。

- お客さんとしてではなく、真剣に仕事に取り組ませてくれる事業所を増

やすために、早い段階から事業所との話し合い、打ち合わせをすることが必要であるがその時間がなかなか確保できない。計画をもっと早めに出来ると良いのだが・・・。

- 地域貢献活動をさらに充実、拡大させるためには、関係諸機関との連携を強化する必要がある。
- チャレンジウィークに対する生徒の意識や職業観の高まりを図るために、事前となる職業に関する学習の系統化や充実を図る。



独居老人宅の草むしりや道路の清掃活動



小学生下校指導の様子



グループホームの手伝い

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(

)